

9月7日(金)

バイエリア視察

9:30～12:00

ピア39、フェリービル、ギラデリ・スクエア

◎ピア39

数々の个性的なお店が並ぶピア39は、1978年に古い栈橋や建物の木材を利用して作られたユニークな栈橋で、今ではサンフランシスコで欠かすことのできない人気スポットである。

◎フェリービル

前の公園に、「大阪港・サンフランシスコ港 姉妹港40周年記念」のプレート設置

近年、約1億円をかけた再開発が行われ、食のマーケットであるフェリービル・マーケットプレイスとして生まれ変わった。

◎ギラデリ・スクエア

かつて大きなチョコレート工場であったが、1964年に1区画にも及ぶ大ショッピングセンターに建て替えられた。个性的で楽しいお店や世界的に有名なレストランに加えて、ギラデリ・スクエアから眺めるサンフランシスコ湾の景色は例えようがないくらい美しい。

堀江健一の「マーメイド号」が停泊している。

サンフランシスコ市 港湾局長表敬訪問 及び意見交換会

13:30

サンフランシスコ市 モニーク・モイヤー 港湾局長を表敬訪問

13:35～14:00

サンフランシスコ市港湾局との意見交換会を行った。

出席者：モニック・モイヤー 港湾局長
マイケル・ナーニー 海事振興課長
トム・カーター
ロナ・サンドラー
ジョアンナ・サカイ
ティム・ヨシダ



港湾・海上交通

サンフランシスコ・ベイエリアはロサンゼルス・ロングビーチに並び米国西海岸における海上輸送の中心的な役割を担っている。ベイエリアには、クルーズ船寄港地としてのサンフランシスコ港、コンテナ港としてのオークランド港、内陸の農業地域から穀物バルク船や沿岸の工業地域に石油・化学製品を運搬する船が出入りするストックトン港並びにサクラメント港といった港湾がある。

1 サンフランシスコ港

かつてサンフランシスコ港は州が管理を行っていたが、1969年2月にサンフランシスコ市長により任命された港湾委員会へと移管された。この委員会は、4年毎に任命される5名の役員が港湾局の運営状況を監督する体制となっている。なお、管理は実務部隊である港湾局行政部は、サンフランシスコ市の一組織として機能しており、組織的には、ル・アーブル港やメルボルン港のように地方政府から独立した団体と異なり、大阪港により近い形態となっている。

旧来、サンフランシスコ港にも、多くのコンテナ船が寄港していたが、大型化する近代船に対応できる水深がないことや、コンテナヤード施設の整備不足のため、現在ではオークランド港がコンテナ港としての役割をほぼ担っている。一方、近年、バラ積み貨物は増加を続け、1999年の1、400トンから2005年には277、000トンにまで増加している。また、クルーズ船の誘致には積極的に力を入れており、1990年には3万5千人であった乗客数が、2005年に88隻の大型クルーズ船が寄港し、約6倍にあたる20万8千人にまで増加している。

港湾局は、港周辺の市所有倉庫等の不動産管理も行っており、テナント賃料が貴重な収入源となっている。予算は、係船料や不動産賃料による収入で賄われており、市からは一切の補助金も得ずに独立した運営を行っている。

2 オークランド港

オークランド港は、海陸一貫輸送の可能な港として、また、米国西海岸におけるハブ海港として発展してきた。1962年から港湾貨物のコンテナ化に伴い700万ドル以上の設備投資を行い、現在は29の岸壁（14m超）に36基のガントリークレーンを装備しており、そのうちの31基がパ

ナマックス対応となっている。また、港内と高速道路が直接結ばれてトラックの乗り入れが容易に行えるほか、2つの貨物路線が乗り入れ、港内で貨物列車への積み替えが行えるようになっている。

同港が取扱う貨物の全てはコンテナ貨物で、その取扱規模は全米でロサンゼルス／ロングビーチ港、ニューヨーク港、シアトル／タコマ港について4番目となる。主な貨物の仕向先はアジアである。

港湾の管理は、オークランド市港湾局が行い、4年ごとに選出される7名の委員会によって運営が監督されている。

サンフランシスコ港湾内視察

14:30～16:00

意見交換会の後、サンフランシスコ市港湾局の案内で、約1時間30分、サンフランシスコ湾内視察を行いました。

海上からサンフランシスコ・ウォーターフロントの開発状況を視察しました。フェリー・ビルディングを中心に、西側に広がる商業・集客エリア、東側に広がる港湾エリアあるいは大型複合再開発エリアの状況を、非常にわかりやすく把握することができました。



平成 19 年 4 月 23 日から 25 日の 3 日間、サンフランシスコ港において、第 13 回の姉妹港会議が開催された。今年は大阪港とサンフランシスコ港との姉妹港提携 40 周年にあたることから、ピア 1 の向かいにある公園の一角にて、桜の幼木が植樹され、その植樹の由来を説明するプレートが埋め込まれていました。その植樹された桜の木は、4 ケ月の間にすくすくと育ち、4 m 以上になっていた。

